

平成 2 0 年 度

事 業 報 告 書

財団法人山口市文化振興財団

1 事業報告

(1) 事業概要

「山口市における文化の振興を図るため、企画事業を実施するとともに、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進し、もって個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上に寄与する」という財団設立時の趣意書に掲げる目的を達成するため、事業開始13年目を迎えた平成20年度において、以下の事業を実施した。

事業のうち、寄附行為第4条第1号に掲げる“市民の文化振興に関する事業の企画実施（以下「企画事業」という。）”においては、山口市から管理運営を受託している山口市民会館及び中原中也記念館をはじめ、市内にある他の公共文化施設等を活用し、音楽演奏会、市民参加型コンサート、演劇公演、講座事業等年間をとおして企画実施した。

また、やまぐち情報文化都市づくりにおける交流拠点として平成15年11月に開館した山口情報芸術センターは開館5周年を迎え、記念事業として「大友良英/ENSEMBLES」展、珍しいキノコ舞踊団+plapla「TheRainyTable」等の大型インスタレーション展、滞在制作による新作公演等を実施し「新しい価値の創造」を目指した。また、初の館外作品展示として「YUDA ART PROJECT」を実施。湯田温泉街とのコラボレーションで新たな事業展開を試みた。その他にも、幅広いジャンルの公演事業や作品展示を行うとともに、体験型ワークショップ等の市民参加型のプログラムを多数開催した。

同条第2号に掲げる“市民の文化活動の育成及び支援(以下「育成・支援事業」という。)”においては、山口市民会館の開館当初からの協力団体である、「やまぐち市民文化の会」(会長：田村幸志郎氏)との事業の企画実施の連携により、育成・支援を行うとともに、当財団の目的及び事業に賛助する市民との機能的な連携を図るため、平成9年度に発足した「財団法人山口市文化振興財団友の会“Ars Nova Yamaguchi”」の会員加入促進に努めた。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を助成する「市民文化活動支援事業」を継続実施し、市民と一体となった文化振興を図った。

同条第3号の“文化振興に関する調査研究(以下「調査研究事業」という。)”においては、山口市所管課と連携した関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進するとともに、自主企画展事業に関する調査及び研究を行った。

同条第4号の“文化に関する情報の収集及び提供(以下「情報収集・提供事業」という。)”においては、市民文化に関する活動状況、市内文化施設におけるイベント情報等を収集し、自主企画事業の広報並びに広く市民に情報提供する文化情報誌として、山口文化情報「any」を年間4号発行した。また、山口市民会館においては施設における催物案内を、中原中也記念館においては中原中也研究に関わる情報提供のための館報第14号を発行した。

このほか、同条第5号の“文化施設の管理運営の委託(以下「施設管理受託事業」という。)”においては、受託施設の維持管理業務による施設の安全及び保守を図るとともに、施設の利用促進等を図るための利用許可業務、利用料及び観覧料徴収等の受付業務を行った。

(2) 企画事業

山口市からの管理運営受託施設である山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の機能を生かしつつ、文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会の拡充を図った。

また、事務局及び協力団体との共催においては、これらの施設を中心に広く市内文化施設等を活用した各種企画事業を行った。

山口市民会館

「やまぐち市民文化の会」の主催として『朗読劇 白石加代子の「源氏物語～宇治十帖」』公演等を行った。

また、自主公演として地元で音楽活動を行っている音楽愛好者の方々による「第36回市民コンサート」や「第21回お母さんコーラス」等、一般市民と一体となった演奏会を実施した。

中原中也記念館

中也の詩を様々な角度から紹介するテーマ展示、中也を軸としてその軌跡や親交のあった人物を紹介する特別企画展、並びに企画展を実施するとともに、中也の人と作品をわかりやすく解説し、理解を深める一助として公開講座を開催した。また、中也が好んだ「朗読」を通じて市民参加型イベント「中原中也生誕祭」を実施し、詩の朗読に親しむ場を提供した。

毎月1回、中也やその他の詩人の詩を読む読書会を開催し、詩について理解を深める場も提供した。

山口情報芸術センター

山口情報芸術センターは開館5年目を迎え、記念シンポジウム、湯田温泉での大規模館外展示など、5周年を飾る記念事業を実施するとともに、開館以来の事業方針である市民生活への定着を目指し、参加型作品の展示や各種公演、講座等を開催して、市民が様々な文化芸術に触れる機会の提供に努めた。

交流・創造事業のうち、アート事業については、メディアを通じて様々な領域、新たな価値に触れることを目的として、企画展の制作・展示を行った。なかでも、大友良英初の大規模インスタレーション作品「大友良英/ENSEMBLES」展は、内外より多くの注目を集め、様々なメディアに取り上げられる等、当施設の存在を多方面にアピールする良い機会となった。

パフォーマンス事業については、滞在制作作品である『「珍しいキノコ舞踊団+plaplax」TheRainyTable』公演が5周年事業の最後を飾るに相応しいできに仕上がりに、多くの観客から高い評価を得ることができた。また招聘型、連携型の作品についても、年間を通じて上演した。

市民参加事業については、コミュニティシネマの定期上映を始め、関係機関と連携して多様な映像作品を市民に提供した。

学習支援事業では、幅広い層に向けて楽しみながら知的好奇心を刺激するプログラムを提案した。

その他、企画展関連のワークショップや演劇講座などを開催し、地域の人材育成や文化芸術活動の活性化を図った。

また、平成20年度中には、センターの活動実績等が評価され、国土交通省の「公共建築賞公共文化施設部門最優秀賞」、財団法人地域創造の「JAFFRAアワード」を受賞した。

事務局

市民に広く文化に親しんでもらうということをふまえ、エンターテインメント性の高いもの（市民の注目を集めることのできることを中心に、山口市民会館、山口情報芸術センターを活用し広域的かつ幅広い年齢層を対象にした音楽コンサート等4公演を実施し、多くの市民に様々な鑑賞機会を提供した。

（3） 育成・支援事業

財団の目的達成のために、事業の企画実施に積極的に協力する組織を育成・活用するとともに、連携による事業を行った。

また、財団の目的及び事業を賛助する市民等を組織化するため、平成9年度に発足した財団友の会の継続とともに、市民の文化活動に助成金を交付して支援する「市民文化活動支援事業」を行った。

協力団体育成

財団の企画事業の実施を積極的に協力する組織を育成し、一部の事業において企画実施を委託した。

- ・ やまぐち市民文化の会（会長：田村幸志郎氏）
～山口市民会館における事業の企画実施を委託した。

友の会の組織化と運営

財団の目的及び事業に賛助する市民と機能的な連携を図るために発足した「財団法人山口市文化振興財団友の会 Ars Nova Yamaguchi」（呼称：エニー）の会員加入促進に努めるとともに、積極的な情報提供を行った。

- ・ 発足時期 平成9年4月1日

・ 会員種別

種 別	対象者	年 会 費
個人会員	個人	入会時 2,000円 更新時 1,500円

- ・ 会員特典 チケットの優先予約、割引購入
チケット、情報資料の無料郵送
YCAMシネマ及び中原中也記念館の招待券贈呈
ACEカード契約者へのチケットのクレジット販売等

・ 会員数（平成21年3月31日現在）

個人会員 904名

市民文化活動支援事業

営利を目的としない個人、団体等が行う文化事業に助成する事業として、審査を経た18件に助成した。

- ・ 応募期間 平成20年3月1日～4月23日
- ・ 応募件数 24件
- ・ 助成団体 18件

団体・個人名	事業名	分野
山口県日伯親善協会	日伯交流年記念事業「ボサノバ&サンバコン	音楽
小郡俳句同好会	「俳句のまち おごおり」宣言	文学
劇団 演劇街	「パパは、ロボット」	演劇
山口高校卒音楽専攻者	山口高等学校卒業生によるジョイントコン	音楽
特定非営利活動法人 山口現代藝術研究所（YICA）	アートイン木町プロジェクト「つなぐ」08	その他
touch the bonnet	「農業少女/前夜祭」	演劇
山口文学セミナー	山口文学セミナー	文学
山口音楽振興会 まんてん	交通安全啓蒙コンサート	音楽
特定非営利活動法人こどもステーション山口	「博士の愛した数式」	演劇
スタジオイマイチ	Airpockets	舞踊
山口の街並を着物で歩こう会	アートふる山口の街並を着物で歩こう！	その他
山口日独協会	富田博之オーボエ・リサイタル	音楽
レ・プレジール・トゥ・パルナス演奏会実行委員会	バッハを目覚めさせた巨匠たち	音楽
松富 淑香	野村誠コンサート	音楽
山口プラスソサエティ	山口プラスソサエティ第22回定期演奏会	音楽
特定非営利活動法人 子どもとともに山口県の文化を育てる会	心をかたちに～子どもたちに粘土の未来～ 「野焼き体験・古代人に挑戦」作品集	その他
山口鷺流狂言保存会	山口鷺流狂言定期公演	伝統芸能
鈴木 博子	アフリカンフェスタinやまぐち	その他

(4) 調査研究事業

中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進した。

自主企画事業に関する調査及び研究

事業企画の研究のため、公演ごとのアンケート調査を随時行った。

(5) 情報収集・提供事業

！ 山口文化情報誌「any」の発行

財団の事業を広報し、収集した市内及び周辺の文化情報を定期的に提供する情報誌として、平成9年1月に創刊した「any」を年間4号、四半期毎に発行した。(第65号～第68号、各A4版(8月にリニューアル)、10,000部)

「中原中也記念館報第14号」の発行

中原中也記念館の年間活動記録、新資料の紹介、関係者の寄稿などを掲載した「館報第14号」を発行した。(3月31日発行、A4版、20ページ、3,500部)

ホームページによる情報提供

財団及び山口市民会館、中原中也記念、山口情報芸術センターのホームページにより、イベント情報等を随時発信した。

(6) 企画事業一覧

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
財 団 事 務 局	二兎社 「歌わせたい男たち」	5/1(木) 山口市民会館 大ホール	日本を代表する劇作家 永井愛の手がける演劇作品。05年の初演では朝日舞台芸術賞などの数々の賞を受賞したことや、国歌斉唱めぐる社会問題を扱ったテーマで話題を呼んだ作品だけあって、山口での再演が熱望されていた。俳優陣はTVや映画・舞台上で活躍中の戸田恵子、舞台上の渋い演技が高く評価されている大谷亮介、三谷幸喜作品でおなじみの近藤芳正など個性的な面々。国歌斉唱をめぐる一見重たく見えるテーマをコミカルに描き、笑いと涙が絶えない公演であった。山口が千秋楽ということもあり最後は観客全員が総立ちになり、拍手喝さいで幕を閉じる盛況ぶりだった。	751名	前売： S席 一般 5,000円 A席 一般 4,000円
	ミュージカル 「サウンド・オブ・ミュージック」	11/23(日) 山口市民会館 大ホール	地方都市では上演が困難な舞台製作費等に経費がかかる大掛かりなミュージカルを芸術文化振興基金の助成をうけて実施した。本作品は世界中で愛され、映画やテレビで見た人が多い親しみが持てる作品で、また、映画やテレビにはない、生の舞台ならではの迫力と緊張感のある空間を提供したことで、その違いを楽しんでもらうことができた。また、単なる買い公演に終わらないよう公演前に、出演者・演出家を招いて作品の魅力を語ってもらうイベントを行った。主演のマリア役には、抜群の美声と歌唱力の中村香織、その他には辰巳琢郎、また「ドレミの歌」の日本語作詞者のベギー葉山など豪華俳優陣が出演。最後には、観客全員で「ドレミの歌」を合唱するなど、最後まで観客の心をとらえ、楽しんでいただけた公演となった。	953名	前売： S席 一般 6,000円 A席一般 5,000円 B席 一般 4,000円 高校生以下 各半額
	宝くじおしゃべり音楽館	3/14(土) 山口市民会館 大ホール	宝くじの助成をうけて、大型編成の本物のクラシック音楽を安価に提供することができた。タレント・俳優として活躍する辰巳琢郎の司会進行で、作曲家・編曲家の三枝成彰のおしゃべり、東京ニューシティ管弦楽団の演奏を中心に、塩田美奈子のソプラノの歌声とジャズ界で人気を集める国府弘子のピアノが加わり誰もが知っている名曲を演奏。クラシックの名曲をただ鑑賞するだけではなく、演奏家の裏話や曲の解説も加わり、クラシック初心者でも気軽に楽しめたコンサートだったと好評だった。	1,083名	前売： 一般 2,500円 高校生以下1,500円
	柄本明ひとり芝居「風のセールスマン」	3/18(水) 山口情報芸術センター スタジオA	劇作家として活躍し、いまや演劇界の重鎮的存在である別役実が、TV、映画、舞台上、個性的なキャラクターを巧みに演じ分けるベテラン俳優、柄本明のために書き下ろした新作ひとり芝居。別役が得意とする不条理劇で「不確かな存在」にあえぐセールスマンを、柄本が自ら演出した。公演後には、柄本自身が別役氏・演劇・お客への想いをユーモアたっぷりに語り、観客は柄本の人柄と演技へ拍手喝さいだった。	450名	前売：一般 3,500円

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口市市民会館	山本晋也が誘う懐かしの映画音楽の夕べ	9/12(金) 山口市民会館 大ホール	風と共に去りぬ、エデンの東、太陽がいっぱい、マイ・フェア・レディなどの名作映画を彩った懐かしの映画音楽に、トークを交えたコンサート。東京フィルハーモニック管弦楽団の迫力ある演奏と山本晋也監督の語りで会場を盛り上げた。	1,000名	全席指定： S席5,000円 A席4,500円
	朗読劇 白石加代子の「源氏物語～宇治十帖」	11/4(火) 山口市民会館 大ホール	源氏物語が記録上確認されてからちょうど1000年となった本年。瀬戸内寂聴の現代語訳に原文や解説を織り交ぜて構成された台本をもとに、光源氏亡き後の物語「宇治十帖」を上演。テレビ・舞台で活躍する白石加代子の迫力ある朗読劇で観客を魅了した。	700名	全席指定： S席4,500円 A席4,000円 B席3,000円
	第21回 山口市おかあさんコーラス演奏会	2/7(日) 山口市民会館 大ホール	市内のPTAコーラス等の団体が一堂に集い、コンサートを通じてそれぞれのグループの親睦を深めつつ、お互いの向上を目的とした演奏会。今年度は12グループが参加し、プログラムの最後には「大地讃頌」を会場全員で合唱した。	700名	無料
	第13回 ニューイヤーバンド フェスティバル2009	1/18(日) 山口市民会館 大ホール	山口県吹奏楽連盟加入団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術並びに音楽表現力の向上を深め、あわせて各団体の親睦を図るためのコンサート。今年度は小学校3校、中学校9校、高等学校7校、大学・一般2団体が出演し、日頃の練習の成果を発表した。	1,000名	無料
	第36回 市民コンサート ～あの名演奏をもう一度～	3/20(金・祝) 山口市民会館 大ホール	今年度内に開催された各種音楽コンクールにおいて優れた成績を収められた方々や、平素から熱心に音楽活動を続けておられる方々を招いての"アンコールコンサート"。今年度は10人、10団体が出演したほか、十数年の歴史がある市内の中高生で構成する「山口ジュニアオーケストラ」が演奏会の最後を盛り上げた。	1,000名	無料
	第19回 日本フィルハーモニー交響楽団 山口定期演奏会	2/14(土) 山口市民会館 大ホール	毎年恒例の日本フィルハーモニー交響楽団による演奏会。指揮者に小林研一郎氏、ヴァイオリン演奏に木嶋真優氏を迎え、ドヴォルザーク「スラブ舞曲第1番」、ブルッフ「ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調」、ベートーヴェン「交響曲第5番八短調"運命"作品67」などおなじみの曲を演奏した。	1,000名	S席 6,500円 A席 5,500円 学生席 3,000円 S席のみ指定席
中原中也記念館	中原中也生誕祭 「空の下の朗読会」	4/29(火・祝) 中也記念館前庭	第1部：自由参加の朗読(朗読参加者22名) 第2部：パトリック・ヌジェコンサート(シャンソン歌手)	130名	無料
	展示関連 第5回テーマ展 「友情-君と僕との命はかざり」	H20/2/21 (木)～ H21/2/15 (日) 中也記念館1階常設展示室	中也がどのように友達とつきあい、友情を結んだかを紹介。	1,650名	平成19年度事業 入場者数は H20/4/1～ H21/2/15

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
中原中也記念館	第6回テーマ展 「哀悼の詩ー愛するものが死んだ時には」	H21/2/18 (水)～ H22/2/7 (日) 中也記念館1 階常設展示室	中也が身近な人々の死をどのように受け止め、そこからどのような詩が生み出されたのかを紹介。	3,093名	平成20年度事業 入場者数は H21/2/18～3/29
	特別企画展 「『歷程』と中原中也」	7/30(水)～ 9/28(日) 中原中也記念館	昭和10年創刊、現在も発行を続ける同人誌「歷程」。中也は詩人の草野心平に誘われ創刊時より同人となった。創刊までの紆余曲折、同人と中也の関係などを紹介。草野心平記念文学館、仙台文学館との三館連携開催。	5,331名	
	特別企画展 プロムナード・トーク	7/30(水) 中原中也記念館	特別企画展の解説 案内：池田誠	23名	
	特別企画展 プロムナード・トーク	9/27(土) 中原中也記念館	特別企画展の解説 案内：池田誠	17名	
	特別企画展 上映会	8/15(金) 中也記念館2 階ビデオ放映室	「草野心平 ほとばしる詩魂」 担当：池田誠	13名	
	特別企画展 上映会	9/5(金) 中也記念館2 階ビデオ放映室	「草野心平 ほとばしる詩魂」 担当：池田誠	13名	
	特別企画展 トークイベント 「心平のカエルと中也のカエル」	8/2(土) 西村屋旅館	特別企画展に関連し、科学と文学の両面から“カエル”を論じる。 講師：田原義寛(秋吉台エコ・ミュージアム自然観察指導員)、池田誠	50名	
	特別企画展 講演 「草野心平と蛙の詩」	8/10(日) サンフレッ シュ山口	講師：小野浩(いわき市立草野心平記念文学館専門学芸員)	50名	
	特別企画展 子ども向けワークショップ 「詩にでてくるカエルを見てみよう！」	8/20(水) 湯田公民館	草野心平の詩に登場するカエルを見ながら、詩の世界を鑑賞。 講師：田原義寛(秋吉台エコ・ミュージアム自然観察指導員)、池田誠	20名	

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料	
中原中也記念館	企画展 「中也の住んだ町 京都」	H19/12/19 (水)～ H20/4/20 (日) 中也記念館2 階企画展示室	中也の本格的な文学的出発を育んだ京都の町を、関連作品とともに紹介。	1,045名	平成19年度事業 入場者数は H20/4/1～4/20	
	企画展 「第13回中原中也賞」	4/23(水)～ 7/27(日) 中也記念館2 階企画展示室	第13回中原中也賞受賞者・最果夕比氏と詩の世界を紹介。併せて歴代受賞者のその後の活動を展示。	6,308名		
	企画展 「美と痛み 大和保男の陶と中原中也」	10/1(水)～ 12/14(日) 中也記念館2 階企画展示室	陶芸作家・大和保男氏が中也の詩と持論に触発され、制作した、陶芸作品を中心に言葉と造形のコラボレーションを展開。	6,357名		
	企画展 展示解説	10/1(水) 中也記念館2 階企画展示室	企画展の解説(作家本人による自作解説) 案内：大和保男	30名		
	企画展 公開対談 「美と痛み 大和保男の陶と中原中也」	11/7(金) ニューメディア アブラザ山口 多目的シア ター	講師：大和保男(陶芸家)、斉藤武男(東京国際ガ ラス学院学院長)	120名	無料	
	企画展 「中也の兄弟たち」	H20/12/17 (水)～ H21/4/19 (日) 中也記念館2 階企画展示室	個性的な名の示す通り、それぞれの道を歩んだ中原家の6人兄弟たちを紹介。	5,889名	平成20年度事業 入場者数は H20/12/17～ H21/3/29	
	中原中也記念館公開講座					
	特別企画展関連事業 公開講演 「草野心平思慕」	9/13(土) ホテルニュー タナカ 平安の間	講師：立松和平(作家)	111名	中原中也の会と 共催	
	テーマ展関連事業 公開講演 「中原中也のいごこち」	10/12(日) ニューメディア アブラザ山口 多目的シア ター	講演：「大都会の庇護者 関口隆克のテープ発見」 講師：安原喜秀(居心地研究家) 講演：「ダダとポンパとゆやゆよん」 講師：諏訪哲史(作家) 対談：「現代作家と中原中也」 講師：諏訪哲史、山岡頼弘(文芸評論家)	32名		

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
中原中也記念館	読書会 第47回～第58回 読書会 中原中也を読む会	4/25(金)～ 3/27(金) 中原中也記念館他	企画展、常設テーマ展示の見学及び中也の詩の読書	102名	
	機関誌の発行 「中原中也研究」第13号発行	8/31(日)	特集：中也とランボー 編集：中原中也の会・「中原中也研究」編集委員会	1,000部	2,000円
	館報の発行 館報第14号発行	3/31(火)		3,500部	
	中原中也の会への協力 昭和文学会第42回研究集会 中原中也の会第12回研究集会 「中原中也への新たなまなざし」 共催：昭和文学会、中原中也の会	5/10(土) 駒沢女子大学	講演：「中原中也と戦争」 講師：福島泰樹(歌人) シンポジウム：「モダニズムと中原中也」 パネリスト：澤正宏(福島大学人間発達文化学類教授)、中原豊(中原中也記念館副館長)、米村みゆき(甲南女子大学文学部専任教員) 司会：阿毛久芳(都留文科大学教授)、疋田雅昭(長野県短期大学助教)	102名	
	中原中也の会第13回大会 「中原中也と草野心平」 主催：中原中也の会	9/13(土) ホテルニュータナカ 平安の間	講演：上記公開講座と同 アクトン：よしもと あい(ピアノ弾き語り、朗読) シンポジウム：「中原中也と草野心平 - 共鳴する詩人 -」 パネリスト：入沢康夫(詩人・明治大学教授)、傳馬義澄(國學院大學教授) 司会：阿毛久芳(都留文科大学教授)	111名	500円
	中原中也の会第9回セミナー 特別企画展「「歷程」と中原中也」探訪 主催：中原中也の会	9/14(日) ホテルニュータナカ 中原中也記念館	解説：池田誠	37名	310円
	中原中也の会日仏合同企画 「中原中也 日仏近代詩の交感」 主催：中原中也の会、ランボー記念館、中原中也記念館	12/13(土) フランス パリ日本文化会館小ホール	「知れざる炎、空にゆき! : 中原中也の詩をめぐって」 基調講演：「中原中也の生涯」佐々木幹郎(詩人・中原中也の会会長) 講演：「中原中也 その詩人としての二度の働き」フィリップ・フォレスト(作家・ナント大学教授) 対談：「翻訳者にして翻訳された詩人 中原中也」 対談者：宇佐美斉(京都大学名誉教授)、イヴ＝マリ・アリュー(トゥルーズ・ル・ミライユ大学助教、中原中也の詩の仏訳者) 朗読：佐々木幹郎、イヴ＝マリ・アリュー、福島泰樹(歌人)	前半84名 後半84名	前半(無料) 後半：コンサート(有料)
	中原中也の会日仏合同企画 「中原中也 日仏近代詩の交感」 主催：中原中也の会、ランボー記念館、中原中也記念館	12/14(日) フランス シャルルヴィル-メジエール市立図書館ホール	「アルチュール・ランボーと中原中也」 講演：「中原中也の生涯」佐々木幹郎 朗読：佐々木幹郎、イヴ＝マリ・アリュー、関口涼子(詩人)、ジュリアン・フォーリ(カミーユ・クローデル高校教員) 講演：「1930年代の日本におけるランボーの受容」宇佐美斉 司会：ジュリアン・フォーリ 朗読と歌の夕べ：福島泰樹、おたか静流、向島ゆり子	前半57名 後半63名	前半の講演、後半のコンサート、共に入場無料
	〃	12/15(月) フランス ランボー記念館ほか	「ランボー記念館との交流事業」 ・プレゼント贈呈、ランボー資料受領 ・展示見学 ・ランボー関連史跡の見学など	ツアー参加者 20名	他多数 (シャルルヴィル-メジエール市関係者、ランボー記念館関係者、スタッフ)

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター（アート事業）	池田亮司新作インスタレーション展「datamatics」	3/10（土）～5/28（月）スタジオA	<p>池田亮司は、コンピュータによる先端的音楽表現で世界を牽引する第一人者として知られ、またアーティストグループ、ダムタイプのメンバーとして活躍。さらにウィリアム・フォーサイス、伊東豊雄、杉本博司など、第一線のアーティストたちとの多彩なコラボレーションによる活動も展開している。今回は、YCAMでの2度にわたる滞在により制作した新作インスタレーションを含む3作品を1カ所で同時公開。池田亮司の世界初の個展となった。</p> <p>スタジオA 巨大なプロジェクション画面によるオーディオビジュアルインスタレーション「data.tron」と、35mmフィルムの物質再現の限界まで精緻に突き詰めたインスタレーション「data.film [n°1-a]」。スタジオの壮大な空間の中で、対比的に構成された展示を行った。</p> <p>スタジオB 本展のための新作インスタレーション「test pattern [n°1]」（YCAM委嘱作品）。映像とサウンドの同期と変化が生み出す、メディアの再現性と人間の知覚認識の限界を突き詰める空間的実験作品。</p>	7,158名	入場無料
	「大友良英 / ENSEMBLES」展	7/5（土）～10/13（月）スタジオA、スタジオB、ホワイエ	<p>フリージャズ、即興演奏、ノイズミュージック、現代音楽、電子音響、映画音楽など、多彩な分野で活動を行う包括的な音の世界を、新作インスタレーション4作品（YCAM委嘱作品）として発表。</p> <p>1) 「quartets」（カルテッツ）[新作/YCAM委嘱作品] 「A」、「B」2つの別の音楽的方向性をもつカルテットによる演奏が、ランダムに入れ替わったり、同時に流れ出したり、微妙にずれたりする映像音響作品。カルテットAには、大友良英、アクセル・ドナー、Sachiko M、マーティン・ブランドルマイヤー、カルテットBには、石川高、一楽儀光、カヒミ・カリィ、ジム・オルークが参加。</p> <p>2) 「orchestras」（オーケストラズ）[新作/YCAM委嘱作品] 現代美術作家、高嶺格との共同制作による映像音響インスタレーション。プロのミュージシャン、アマチュア演奏家、市民等総勢100余名に、同じテーマから各々が発想し、即興演奏した音源を元に展開した大規模な空間展示作品。</p> <p>3) 「without records」（ウィズアウトレコーズ）[改訂新作] ホワイエに100台を超えるポータブルレコードプレイヤーを設置。レコードを置かず、回転するターンテーブルが発するモーター音やスピーカーのノイズが共鳴し、音の群を形づくる。 2Fギャラリーには、それらとは別に新作として、ターンテーブルの機能を裸にし、ハイファイ音で再生する「Hyper without records」を展示。</p> <p>4) 「filaments」（フィラメンツ）[新作/YCAM委嘱作品] 大友良英とSachiko MによるユニットFilamentが、開放感のある閉館後の図書館を使用し、サウンドスペースとして展開。ミニマムかつ微細なサウンドが、明滅する光と呼応する作品。観客は渡り廊下から鑑賞するという新たな試みを行った作品。</p>	10,361名	入場無料

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター（アート事業）	「大友良英 / ENSEMBLES」 （関連）トーキング・セッション 「大友良英 × 高嶺格」	6月1日（日） ホワイエ	「大友良英 / ENSEMBLES」展の関連企画。 新作インスタレーションのひとつ「orchestras」（オーケストラズ）で初のコラボレーションを行う大友良英と高嶺格の両氏をゲストに、作品の魅力などを中心に談義。司会には国際的な美術雑誌「ARTiT」編集長で、東京のカルチャーイベントをバイリンガルで伝えるウェブサイト「REAL TOKYO」発行人の小崎哲哉氏を迎え、個性的な二人の魅力と、滞在制作作品の構想、制作過程等を紹介した。	150名	観覧無料
	「大友良英 / ENSEMBLES」 関連ライブシリーズ 「Songs」	7月5日（土） スタジオA	1st setは、カヒミ・カリィ初のフォトインスタレーションコンサートで、彼女の撮影した写真を大スクリーンで映像プロジェクションしながらのセッション。2nd setはニンジャチューンの映像でも知られるベネディクト・ドリュエとDJトランクライザー（青山泰知、大友良英）のセット。3rd setは、カヒミ・カリィ、浜田真理子、山本精一のヴォーカルを中心とした大友良英の新プロジェクト InvisibleSongs。	313名	入場料2,700円他
	「大友良英 / ENSEMBLES」 関連ライブシリーズ 「muusics」	8月23日（土） 館内各所及びスタジオA	1st set: OTOMORCHESTRAは、参加ミュージシャンが、YCAM館内の至る場所に散在して、同時多発的に音楽を奏でだすセッション。サウンドワークショップに参加した小・中学生も演奏に参加した。 <演奏> 1st set: OTOMORCHESTRA ONJOのメンバーを含む数十名のミュージシャン、高嶺格、飴屋法水、サウンドワークショップ参加者、音遊びの会、rewall、小川紀美代、渡辺英貴、牧野琢磨、毛利悠子、五所純子 湯浅学 松島玉三郎ほか多数 2nd set: ONJO(otomo yoshihide's new jazz orchestra)は、ミュージシャンが、スタジオAの廃材を使ったインスタレーション内で競演するセッションとなった。	388名	入場料2,200円他
	「大友良英 / ENSEMBLES」 関連ライブシリーズ 「networks」	10月11日（土） 1st set: スタジオB 2nd set: ホワイエ 3rd set: スタジオA	希代のギタリストである大友良英、山本精一によるドリームデュオのセッション。大友良英とシンガポール、韓国、中国からのミュージシャンによる新しいユニットFar East Networkも登場し、本展覧会の最後を締めくくった。。	198名	入場料1,700円他

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (アート事業)	「ミニマム インターフェイス展」	11/1(土)～ 2/8(日) ホワイエ、スタジオA	<p>情報化社会特有の文化的多様性を表現するキーワードとして、「インターフェースの未来」をテーマに展開した展覧会。YCAMが開拓してきた独自の分野である<アート+身体表現>の視点を踏まえ、映像・写真・アニメーション・サウンド・建築オブジェ・プロダクトデザインなど、さまざまな分野の作品を選定した。YCAMの館内各所には、国内外(アメリカ、オランダ、スペイン、日本)8組のアーティストによるアートやデザインの委嘱作品を含む最新作を展示。</p> <p>reacTable/セルジ・ジョルダ、マルティン・カルテンブルネル、ギュンター・ガイガー、マルコス・アロンソ(ポンペウ・ファブラ大学 ミュージック・テクノロジー・グループ)[スペイン] 純粹 - Abstract interly Interface 新作(YCAM委嘱作品)/久保田晃弘[日本] Card play 新作(YCAM委嘱作品)/ザカリー・リーパーマン、テオドア・ワトソン[アメリカ] Liquid Space 6.0 新作(YCAM委嘱作品)/ダーン・ローズガールデ[オランダ] H20rz 新作(YCAM委嘱作品)/SHINCHIKA[日本] Delicate Boundaries/クリス・サグリユ[アメリカ] Depth of the Field - Processing Photography Blink Series改訂新作/高尾俊介[日本] Floating Compass/LEADING EDGE DESIGN [日本]</p>	10,675名 (スタジオB入場者のみカウント)	入場無料
	「YUDA ART PROJECT(湯田アートプロジェクト)」	11/21(金)～ 12/27(土) 湯田温泉地区各所	<p>国内外で活躍する3組のアーティストが、温泉の街・湯田を舞台にパブリックアートプロジェクトを展開。山口市・湯田温泉の街に多彩なメディアアートが登場した。</p> <p>表現のメディアは「街そのもの」。観光客や市民でにぎわう温泉街で、人の動きに合わせてLEDが美しく変化する作品、湯田の街を散策しながら観客自らが作品を完成していくもの、足湯を舞台にした作品など、光とインタラク션을テーマにしたさまざまなメディアアートを、一般市民に気軽に楽しんで体験いただくこと及びアートを通して、新しい湯田温泉の一面をアピールすることができた。</p> <p>「巡礼端末 - The Terminal for Pilgrimage」新作(YCAM委嘱作品)/exonemo(エキソニモ)[日本] 「足湯タイマー ぶらり旅」新作(YCAM委嘱作品)/SHINCHIKA(シンチカ)[日本] 「Array」(アレイ)新作(YCAM委嘱作品)/United Visual Artists(ユナイテッド・ビジュアル・アーティスト)[イギリス]</p>	-	観覧無料
	scopic measure #07 / 渡邊朋也 「IAMTVTUNERINTERFACE」	4/18(金)～ 6/15(日) 2Fギャラリー	<p>私たちの日常生活で、最も普遍的なメディアのひとつであるテレビ放送を独自の映像表現におきかえ、これまでとは異なる「テレビ」のあり方を表現したインタラクティブなインスタレーション作品を展示。</p>	-	入場無料

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
	scopic measure #08 / 比嘉了「VP4L」	4/18(金)～6/15(日) 2Fギャラリー	「VP4L」は、空間内での、身体の動きや移動によって、プログラムが作り出す音響空間とインターフェイスする作品。空間概念をベースにしたリアルタイム音響プログラミング言語 = 「VP3L (Visual Programming in 3D Landscape)」をベースにして、インスタレーション作品に発展させ再度YCAMで発表。	-	入場無料
山口情報芸術センター(シアター事業)	YCAMパフォーマンスラウンジ#3 まことクラヴ「事情地域<山口編>」	4/25(金)、26(土) ホワイエ	劇場空間はもちろん、電車や街角などの屋外をも舞台に、ジャージ姿で作品を発表、自らのダンス公演を"部活動"と称する活動を展開する遠田 誠主宰のダンスカンパニー"まことクラヴ"を紹介。	175名	入場料1,500円他
	世界のCMフェスティバル2008 in YAMAGUCHI	6/7(土) スタジオA	世界中から選りすぐりのCMを集めて上映する「世界のCMフェスティバル」を昨年度に引き続き開催した。	296名	
	振付家ジル・ジョバン公演「Text to Speech」	7/21(月) スタジオA	1997年以降、ヨーロッパや南米を中心に、これまで11作品のダンス公演を発表してきた振付家ジル・ジョバン。今回の公演「Text to Speech」では、世界各地で勃発する内紛や戦争を題材に、人と情報との関係性を、ダンサーの身体と映像や音声から流れるテキストによって構成。2008年3月、パリ市立劇場1000席を満員にした本作は、日本の初演がYCAMとなった。	188名	入場料2,000円他
	パフォーマンス公演「Op. 」	12/20(土)、21日(日) スタジオA	ウィリアム・フォーサイス率いる元「フランクフルトバレエ団」で「驚くべき身体能力を持つダンサー」と称された、リチャード・シーガルと、現代音楽の室内・管弦楽団「アンサンブル・アンテルコンタンポラン」のトップチェリスト、エリック＝マリア・クチュリエ、フランス音響音楽研究所IRCAM(イルカム)の研究員など、各分野の世界トップレベルのアーティストが結集し、音、身体、テクノロジーの新たな関係性をコンテンポラリーダンスを通じて表現した。	253名	入場料2,000円他
	The Rainy Table [ザレイニィ テーブル] 珍しいキノコ舞踊団 x plaplax	2/28(土)、3/1(日) スタジオA	日常の中のダンスを捉えることで今の時代を生きる「女の子」のリアルを表現し、人気を集める珍しいキノコ舞踊団と、影や香りをつかったインタラクティブアートで国際的にも評価の高いplaplax が、YCAMで初のコラボレーション。さらに、音楽には大野由美子 (Buffalo Daughter) が参加し。ダンス、メディアテクノロジー、音楽を複合し、高い芸術性を維持しつつも、一般に分かりやすい構成、表現手法が大きな反響を呼んだ。また、3/19から21のは東京シアター ترام 巡回公演では追加公演まで行う盛況ぶりであった。	392名	入場料2,500円他

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (教育普及事業)	meet the artist 2008 ツアー・パフォーマンス 公演「山口市営P」	12/5(金)～7(日) 山口中心商店街エリア	YCAMの特徴のひとつである、パフォーマンス作品を中心市街地を舞台に展開。大型ショッピングセンターが進出する地方都市のなかで、歴史や文化を持ち、生活のなかに溶け込む商店街を舞台にすることで、人々が生活する日常の風景や街の息づかいを改めて注目するというツアーパフォーマンス作品となった。	103名	参加料1,800円他
	YCAMサウンドワーク ショップ 「walking around surround」- 空間に音を 配置しよう -	5/3(土)～6(火・祝) 創作学習室他	人間の聴覚を超えた高音/低音をリスニングする実験や、自由に移動できるオリジナルのワイヤレス小型スピーカーを使って空間の様子を感じる実験などを通し、「聴く」という当たり前のことにあらためて注目するユニークなワークショップを実施した。	28名	参加料500円
	ミニマム インター フェイス展関連ワーク ショップ 「ハンドメイドマウス」	1/4(日)、5(月)、10(土)、11(日) 創作学習室	コンピュータの操作で用いられるマウスをテーマに、インターフェースについて学ぶ2日間のワークショップ。市販のマウスを改造し、自分の"からだ"にあったオリジナルマウスを制作。また、レクチャーと制作を通じて、「インターフェースデザイン」や人間の特性に合わせて情報環境を創造する「ヒューマンインターフェース」などについても紹介。	17名	参加料1,500円
	ミニマム インター フェイス展関連ワーク ショップ 「感覚アスレチック ワークショップ」	1/17(土)、18(日) スタジオA	ゴムひもや布などを使って、参加者それぞれが簡単な障害物を制作し、ゲームのように楽しみながら、普段気付いていなかった"からだ"の感覚を発見していくワークショップを開催。	28名	参加料500円
	The Rainy Table [ザ レイニィ テーブル] (関連)世界初演直 前!舞台のぞき見ツ アー	2/15(日)、22(日) スタジオA	YCAM教育普及担当者のガイド付きで、作品完成間近の緊張感溢れる劇場内で様々な仕掛けや、裏話を披露。アーティストと直に接する機会を提供した。	40名	参加無料
	YCAM茶話会vol.4～舞 台が10倍楽しめる方 法、教えます。～「ま ことクラヴって!？」	4/20(日) ホワイエ	YCAM劇場スタッフが、ダンス作品を楽しむための鑑賞のポイントを茶話会形式で解説する、鑑賞者初心者でもわかりやすいレクチャーシリーズ。関連の振付ワークショップの発表公演終了直後に、「まことクラヴ」主宰の遠田 誠を迎え、場から生みだされる踊りについて等をレクチャー。	20名	参加無料
	YCAM茶話会vol.5～ 舞台が10倍楽しめる方 法、教えます。～	6/14(土) ホワイエ	パフォーマンス公演「Text to Speech」を題材に、振付家や舞台美術、この作品の特徴であるテキストを素材として使ったダンス作品について紹介したほか、作品の背景にある文化や思想についても説明した。	20名	参加無料
	YCAM茶話会vol.6～ 舞台が10倍楽しめる方 法、教えます。～「カ ラダで感じる生演奏」	12/19(金) ホワイエ	ダンス公演「Op.」の紹介も兼ねて、出演のエリック＝マリア・クテュリエによるチェロのミニコンサートを開催した。	86名	参加無料

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
	YCAM茶話会vol.7 ~ 「見たことない！」を生みだす制作現場のヒミツ	2/14(土) スタジオA	珍しいキノコ舞踊団×plaplax「TheRainyTable」の舞台裏を、一般市民に向けて紹介。アーティストの考えから、音響や照明の仕組みまでを分かりやすく説明した。	33名	参加無料
	遠田誠による「振付創作ワークショップ」リレー編	4/12(土)、13(日)、19(土)、20(日) 楽屋7.8	まことクラヴの部長、遠田誠と一緒にオリジナルダンス作品を搜索するワークショップを開催。	9名	参加料3,000円
山口情報芸術センター(研究事業)	YCAM InterLab Camp vol.1 openFrameworks	9/25(木)~28(日) スタジオB	YCAMの制作プロダクションであるYCAM InterLabが主体となって、第一線で活躍する技術者、研究者を迎え、メディアアート作品に使われる最新技術、ツール、環境、その応用についてのレクチャー、ワークショップ、成果発表を、中・上級者向けの集中講座として開催した。第1回目となった本年度は、メディアアート作品の最も先端的な開発環境として注目されている「openFrameworks」をメインテーマとし、実際の開発者を講師に迎えたレクチャーとワークショップを開催した。参加者は主に県外からの学生、技術者であったが、中にはオーストラリアや韓国など海外からの参加もみられた。	15名	参加料 学生：20,000円 一般：36,000円 (4日間通し)
	研究開発事業	通年	YCAMでの作品制作に必要な技術力の向上、維持を目的に基礎研究と開発を行う企画。 YCAM Interlabの各々が、個別に研究テーマを設け、館内での研究発表も実施した。	-	-
	研修生事業	通年	世界中から1人ないしは2人を半年もしくは2年間YCAMに研修生として呼び、共に研究、制作を行う企画。YCAMスタッフの価値観、思考の視野を広げること及び新たな人材発掘を目指すもので、今年は台湾、シンガポールのの研究生を受け入れ、共に研鑽した。	-	-
山口情報芸術センター(シネマ事業)	コミュニティシネマ山口(定期的映画上映)	通年 スタジオC	観客の皆さんからのリクエストをもとに、クラシック映画、ミニシアター系の作品、ドキュメンタリーなど多彩な作品を上映。	2,827名	入場料1,000円他
	Select CINE TECTONICS = 2	通年 スタジオC	映画を芸術作品として捉え、世界の様々な地域の古典から新作まで、芸術史およびメディア史的視点から見て、意義のある映画作品を紹介するシリーズ。ドキュメンタリーも含んだ、普段山口では上映される機会がまれな様々な映画作品を、映画作家やテーマ別にセレクトして上映。 =2/「ボリス・バルネット特集」 =3/「ロバート・クレイマー特集」 =4/「ダニエル・シュミット特集」 =5/「ペドロ・コスタ特集」	390名	入場料1,000円他

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (シネマ事業)	文化庁優秀映画鑑賞推進事業	9/15(金)～18(月)スタジオC	文化庁と東京国立近代美術館フィルムセンターの主催により、多くの人々に優れた映画を鑑賞していただくことを目的に平成元年より実施されている事業。東京国立近代美術館フィルムセンターに所蔵されている貴重なフィルムの中から80本を多様なプログラム編成により、全国各地で巡回上映している。今年度は、多彩な魅力を持つ女優たちの主演作を4本「華岡青洲の妻(若尾文子)」「稲妻(高峰秀子)」「紀ノ川(岩下志麻)」「サンダカン八番娼館 望郷(栗原小巻)」を上映。	177名	入場料500円
	YCAM等関連上映	通年スタジオC	YCAM、財団自主事業で開催するアート展示や公演に関連した作品等をテーマとし特集上映を行う企画。 「大友良英/ENSEMBLES」関連上映/「青い嵐」「スタントウーマン 夢の破片」「ごめん」「風花Kaza-hana」「カナリア」「blue」「朗読紀行・にっぽんの名作『風の又三郎』」「Op.」関連上映「ご縁玉」「Boulez-Repons」「珍しいキノコ舞踊団×plaplax『The Rainy Table』」関連上映「めがね」「柄本明ひとり芝居『風のセールスマン』」関連上映「やじきた道中 てれすこ」	894名	入場料1,000円他
	真夏の夜の星空上映会「天然コケッコー」	8/16(土)中央公園	山口情報芸術センター[YCAM] 正面に位置する中央公園の芝生に座り、涼しくなった夏の夕暮れ時に、くつろぎながら映画を楽しむことができるイベント。YCAMオープン後、毎年開催している上映会は、YCAMの夏のイベントとして定着し、今年度で4回目を迎えた。今年度は、全校生徒6名の小さな田舎の分校を舞台にした話題作「天然コケッコー」を上映。	104名 (雨天のためスタジオCで実施)	観覧無料
	山口未公開映画特集	1/9(金)～2/15(日)スタジオC	日本映画史上重要な意義を持ち、これまで山口県下で上映されていない作品を中心にセレクトとした「山口未公開日本映画特集」を開催。上映作品は新作・旧作も含め、テーマ別にプログラムを組み、関連企画として、作品および作家へのより深い洞察と理解を即すためのゲストトークも行った。	1,387名	入場料1,000円他
山口情報芸術センター(5周年記念事業)	5周年記念式典	11/1(土)スタジオA	開館五周年事業の一環として記念式典を開催。センターの設計者である磯崎新氏を含む関係者約百人に出席いただき、映像等でこの5年間を振り返るなど、センターが大きな節目を迎えたことを確認する重要な事業となった。	-	-

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (5周年記念事業)	5周年記念シンポジウム	11/1(土)~3(月) スタジオA	「Platform for Future/挑発するアートとメディアのプロジェクト」をテーマとし、アートと情報メディアのさらなる可能性を探り、YCAMの軌跡と展望をテーマとするシンポジウムを開催。 セッション1 YCAMコミッションワークの軌跡と展望 ~山口発、世界を巡るアート作品~ セッション2 メディアアートとニュープロダクション ~プロダクション・コミュニティの出現とその可能性~ セッション3 発想を発見する ~アートセンターから発信するもうひとつの教育~	182名	入場無料
	YCAMアーカイブ上映	11/2(日)3(月祝)、8(土)、9(日) スタジオC	開館から5年の間、YCAMで滞在制作したパフォーマンス作品のビデオ上映やアート、教育普及の活動を映像で紹介。	-	入場無料

2 受託施設利用状況

(1) 山口市民会館

・使用日数内訳

使 用 日 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	11	10	9	18	17	16	25	22	12	6	8	17	171
小ホール	11	13	12	20	10	12	21	26	13	7	15	17	177
展示ホール	7	19	13	19	12	12	26	26	11	15	19	24	203
会議室	1	2	5	3	5	4	10	11	1	0	3	5	50
計	30	44	39	60	44	44	82	85	37	28	45	63	601

・使用件数内訳

使 用 件 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	10	7	7	14	17	12	17	18	8	4	7	9	130
小ホール	9	8	9	20	6	12	12	20	7	6	5	5	119
展示ホール	3	5	8	10	5	7	7	14	5	3	6	6	79
会議室	1	2	4	2	2	3	2	7	1	0	2	4	30
計	23	22	28	46	30	34	38	59	21	13	20	24	358

・使用回数内訳

使 用 回 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	23	24	21	41	31	35	69	52	27	13	21	48	405
小ホール	21	35	31	35	20	28	56	64	31	16	38	48	423
展示ホール	17	52	34	39	30	33	69	74	29	41	53	67	538
会議室	2	6	12	7	12	10	29	30	2	0	7	14	131
計	63	117	98	122	93	106	223	220	89	70	119	177	1,497

・使用率内訳

使 用 率													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平 均
大 ホ ー ル	36.7%	32.3%	30.0%	58.1%	54.8%	53.3%	80.6%	73.3%	42.9%	21.4%	28.6%	54.8%	47.6%
小 ホ ー ル	36.7%	41.9%	40.0%	64.5%	32.3%	40.0%	67.7%	86.7%	46.4%	25.0%	53.6%	54.8%	49.3%
展 示 ホ ー ル	23.3%	61.3%	43.3%	61.3%	38.7%	40.0%	83.9%	86.7%	39.3%	53.6%	67.9%	77.4%	56.5%
会 議 室	3.3%	6.5%	16.7%	9.7%	16.1%	13.3%	32.3%	36.7%	3.6%	0.0%	10.7%	16.1%	13.9%
平 均	25.0%	35.5%	32.5%	48.4%	35.5%	36.7%	66.1%	70.9%	33.1%	25.0%	40.2%	50.8%	41.9%

・使用者数内訳

使 用 者 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大 ホ ー ル	4,750	4,450	5,284	9,006	2,600	9,630	12,550	14,880	7,150	3,850	5,150	7,300	86,600
小 ホ ー ル	790	870	1,000	1,597	530	1,348	1,420	986	2,080	650	1,786	3,168	16,225
展 示 ホ ー ル	130	1,435	780	975	311	1,269	1,944	1,197	1,920	807	1,188	3,013	14,969
会 議 室	20	30	80	40	50	50	50	70	20	0	60	80	550
計	5,690	6,785	7,144	11,618	3,491	12,297	15,964	17,133	11,170	5,307	8,184	13,561	118,344

(2) 中原中也記念館入館者年間集計表

(単位：人)

月	一般	大学生	小中高	減額	減免	招待	合計			開館日数(日)			平均入場者数		
							全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝
4月 (うち団体)	961 (41)	35 ()	44 (4)	0	460	74	1,574 (45)	732 (25)	842 (20)	25	16	9	63	46	94
5月 (うち団体)	1,737 (215)	56 ()	71 (19)	4	946	26	2,840 (234)	1,057 (71)	1,783 (163)	26	15	11	109	70	162
6月 (うち団体)	1,105 (35)	29 ()	18 ()	8	243	38	1,441 (35)	714 ()	727 (35)	24	15	9	60	48	81
7月 (うち団体)	1,204 (31)	28 ()	33 ()	126	187	40	1,618 (31)	635 ()	983 (31)	26	17	9	62	37	109
8月 (うち団体)	2,125 (85)	157 (3)	256 (1)	232	224	48	3,042 (89)	1,684 (55)	1,358 (34)	26	16	10	117	105	136
9月 (うち団体)	1,529 (123)	159 ()	40 ()	124	224	93	2,169 (123)	903 (66)	1,266 (57)	24	14	10	90	65	127
10月 (うち団体)	2,144 (125)	49 ()	29 ()	0	569	95	2,886 (125)	1,574 (78)	1,312 (47)	26	17	9	111	93	146
11月 (うち団体)	2,186 (35)	37 ()	49 ()	0	413	63	2,748 (35)	949 (35)	1,799 ()	25	13	12	110	73	150
12月 (うち団体)	1,049 (9)	60 (20)	34 ()	6	191	34	1,374 (29)	555 (9)	819 (20)	23	14	9	60	40	91
1月 (うち団体)	983 (45)	30 ()	31 ()	4	162	22	1,232 (45)	474 ()	758 (45)	23	14	9	54	34	84
2月 (うち団体)	1,283 (32)	55 ()	82 (56)	2	211	31	1,664 (88)	729 (88)	935 ()	23	14	9	72	52	104
3月 (うち団体)	1,771 (108)	133 ()	87 ()	2	317	32	2,342 (108)	1,134 (108)	1,208 ()	25	15	10	94	76	121
合計 (うち団体)	18,077 (884)	828 (23)	774 (80)	508	4,147	596	24,930 (987)	11,140 (535)	13,790 (452)	296	180	116	84	62	119
割合	72.5%	3.3%	3.1%	2.0%	16.6%	2.4%	100.0%								
開館後累計 (うち団体)	416,703 (35,941)	20,300 (2,271)	26,237 (3,228)	508	4,147	45,698	513,593 (41,440)	236,217 (27,145)	277,376 (14,295)	4,500	2,796	1,704	114	84	163
開館後割合	81.1%	4.0%	5.1%	0.1%	0.8%	8.9%	100.0%								

H 2 0 ~ 減額、減免、招待の区分を追加作成

(3) 山口情報芸術センター

・月別入場者内訳

月	開館日数	入館者数	平均入場者数
4	25	53,905	2,156
5	27	58,048	2,150
6	26	59,933	2,305
7	26	64,679	2,488
8	27	70,826	2,623
9	25	61,297	2,452
10	27	72,637	2,690
11	26	78,370	3,014
12	24	63,127	2,630
1	24	57,008	2,375
2	24	61,228	2,551
3	26	52,653	2,025
計	307	753,711	29,459

・スタジオ A 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数	入場者数
4	25	25	100.0	2	26	772
5	27	22	81.5	1	22	1,183
6	26	13	50.0	2	13	296
7	26	18	69.2	3	18	188
8	27	27	100.0	3	28	1,331
9	25	25	100.0	1	25	2,063
10	27	17	63.0	4	18	897
11	26	8	30.8	3	8	952
12	24	7	29.1	1	7	255
1	24	7	29.1	2	7	18
2	24	24	100.0	1	24	174
3	26	9	34.6	4	9	647
計	307	202	65.8	27	205	8,776

・スタジオ B 月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	25	25	100.0	1	25
5	27	22	81.5	1	22
6	26	22	84.6	2	22
7	26	26	100.0	1	26
8	27	27	100.0	1	27
9	25	25	100.0	3	25
10	27	27	100.0	3	27
11	26	26	100.0	1	26
12	24	24	100.0	1	24
1	24	24	100.0	1	24
2	24	23	95.8	2	23
3	26	24	92.3	1	24
計	307	295	96.1	18	295

・スタジオC月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	25	17	68.0	17	32
5	27	14	51.9	12	25
6	26	15	57.7	18	27
7	26	12	46.2	12	27
8	27	17	63.0	16	34
9	25	15	60.0	23	27
10	27	17	63.0	14	34
11	26	13	50.0	12	34
12	24	15	62.5	15	30
1	24	14	58.3	13	31
2	24	16	66.7	14	36
3	26	17	65.4	10	27
計	307	182	59.3	176	364

・創作・学習室月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	25	3	12.0	3	3
5	27	8	29.6	4	8
6	26	16	61.5	7	16
7	26	6	23.1	5	6
8	27	11	40.7	5	11
9	25	7	28.0	3	7
10	27	18	66.7	6	18
11	26	13	50.0	5	14
12	24	8	33.3	5	8
1	24	6	25.0	3	6
2	24	5	20.8	3	5
3	26	2	7.7	2	2
計	307	103	33.6	51	104

・多目的室月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	25	5	20.0	5	5
5	27	10	37.0	9	10
6	26	12	46.2	13	13
7	26	10	38.5	12	12
8	27	15	55.6	16	16
9	25	11	44.0	10	11
10	27	10	37.0	10	10
11	26	16	61.5	14	19
12	24	7	29.2	7	7
1	24	7	29.2	8	8
2	24	7	29.2	8	8
3	26	9	34.6	10	10
計	307	119	38.8	122	129

・目的別使用内訳

(単位：回，%)

区分 \ 目的		音楽	舞踊	演劇	映画	演芸	講演会
スタジオA	使用日数	4	5	1	0	0	4
	使用率	2.0	2.5	0.5	0.0	0.0	2.0
スタジオB	使用日数	0	0	0	0	0	0
	使用率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分 \ 目的		各種大会	展示	会議 講習会	準備 リハ-サル	その他	合計
スタジオA	使用日数	0	91	0	84	13	202
	使用率	0.0	45.0	0.0	41.6	6.4	100.0
スタジオB	使用日数	0	221	0	63	12	296
	使用率	0.0	74.7	0.0	21.3	4.1	100.0

・山口情報芸術センター視察対応一覧

No	視察日	曜日	視察者	人数	視察内容
1	4月3日	木	山口市新規採用職員	43	見学
2	4月16日	水	I A M A S 教授 ジェームス・ギブソン氏	1	見学
3	4月17日	木	韓国文化スポーツ観光部局長キム・カプス氏、イ・オンヨン氏	2	視察
4	4月24日	木	新国立美術館学芸課情報資料室長 平井章一氏	1	視察
5	4月24日	木	フランス在住コロンビアアーティスト Tania Ruiz Guitierrez氏	1	視察
6	4月29日	火	ワイアードビジョンCEO 竹田氏	1	見学
7	5月1日	木	フランス国立オルセー美術館日本代表文化・芸術企画プロデューサー 飯山雅英氏	1	見学
8	5月19日	月	水戸芸術館 森氏	1	視察
9	5月20日	火	JAL旅行企画者山口県観光視察	20	見学
10	5月21日	水	韓国壇国大学 李元坤氏	1	視察
11	5月24日	土	山口大学教育学部文芸芸能コース音楽教育講座	30	見学
12	5月25日	日	国際交流基金芸術交流部長 本田修氏	1	視察
13	5月26日	月	山東省友好協定25周年県立萩美術館企画展示訪問団一行	4	見学
14	6月4日	水	山口市立白石小学校2年生親子	22	見学
15	6月5日	木	横浜市映像文化都市担当	2	視察
16	6月6日	金	阿東町職員	4	見学
17	6月9日	月	米演出家Stephen Earnhart	1	見学
18	6月25日	水	国家公務員地方自治体研修視察	3	視察
19	6月25日	水	国土交通省、東京都職員ほか	3	視察
20	6月30日	月	チェコアーティストPavel Marku氏	1	視察
21	7月2日	水	山口市議会 新世紀クラブ	14	視察
22	7月5日	土	「シネステジー」ビデオアート関連の団体代表アンヌ・マリー・モーリス氏	1	視察
23	7月7日	月	山口市立鑄銭司小学校3年生	16	見学
24	7月12日	土	下関王子山田園入所者	44	見学
25	7月13日	日	小郡山手下子供会	61	見学
26	7月16日	水	山東省山口県友好訪問団	2	見学
27	7月18日	金	行橋市文化協会	40	見学
28	7月24日	木	(株)JCOM 研究員	2	視察
29	7月26日	土	青島市旅行エージェント 他	2	視察
30	7月28日	月	映像作家Eduardo Band氏	1	視察
31	8月4日	月	姉妹都市公州市訪問団	24	視察
32	8月6日	水	阿東町長以下合併関係職員	25	視察
33	8月6日	水	フランスダンサー ジャン＝バティスト氏	1	見学
34	9月11日	木	大原美術館学芸課長柳沢秀行氏 大月ヒロ子氏ほか地域創造メンバー	2	視察
35	9月12日	金	ファエンツァ市派遣音楽家Vanni Montanari, Donato D'Antonio, 建築家ルイージ・チコニャーニ、陶芸家アレッシェンドロ・ネレッティ、アンドレア・サルバトーリ、ザウリ美術館館長マッテオ・ザウリ、評議員クレト・カサディ	7	視察
36	9月25日	木	山口県立周南総合支援学校	31	見学

No	視察日	曜日	視察者	人数	視察内容
37	9月29日	月	鑄銭司小学校3年生	11	見学
38	10月3日	金	富海中学校	6	見学
39	10月13日	月	山口県立萩美術館浦上記念館名誉館長 浦上敏朗氏	2	見学
40	10月16日	木	国際ソロプチミスト宇部	27	見学
41	11月8日	土	岡山県井原市議会議長 他	3	視察
42	11月12日	水	慶尚南道 慶南道立美術館学芸員	3	視察
43	11月12日	水	財団法人地域創造理事長 林省吾氏 他	2	見学
44	11月15日	土	エジプトIT事業者 サディック氏	1	見学
45	11月17日	月	美祢市美東地区連合小学校	71	見学
46	11月17日	月	メディアアートキュレーター グスタフ・H・イスカンダル氏、ヤップ・ソーピン氏	2	視察
47	11月21日	金	萩市食生活改善推進協議会萩支部	27	見学
48	11月23日	日	展示学会	14	見学
49	11月23日	日	東京大学大学院研修生 黄サンサン氏	1	視察
50	11月24日	月	福島市都市間交流推進室室長 荒井正章氏	1	視察
51	11月29日	土	スパイラル/株式会社ワコールアートセンターチーフプランナー 松田朋春氏	1	視察
52	12月6日	土	今治市市街地再生課 稲田氏ほか	6	視察
53	12月14日	月	社団法人メセナ協議会 喜多爽氏	1	見学
54	12月19日	水	YCAM建設企業(大林組)参事	1	視察
55	12月19日	水	山口県観光交流課	3	視察
56	12月19日	水	佐世保市教育委員会	6	視察
57	12月21日	土	大阪ドイツ文化センター館長 ミヒヤエル=シュレーン	1	視察
58	1月8日	木	ミュージシャン ゴンチチ	2	視察
59	1月9日	金	市内校長会	20	見学
60	1月14日	水	山口大学教育学部附属山口小学校	39	見学
61	1月21日	水	山口市立湯田小学校6年1組・3組	59	見学
62	1月23日	金	山口市立湯田小学校6年2組・4組	61	見学
63	1月31日	土	東北大学大学院 小野田康明教授	1	視察
64	2月6日	金	江戸川区議会議会運営委員会	21	視察
65	2月7日	土	日本科学未来館ミュージアム展示企画グループ 島田・小沢氏	2	視察
66	2月9日	月	伊丹市議会事務局	3	視察
67	2月18日	水	ラボ研修希望者 Wilson Yeung氏	1	視察
68	2月27日	金	北海道教育大学 佐々木教授 他	2	視察
69	3月6日	金	全国美術館会議 教育普及研究部会	12	見学
合 計				829	

3 庶務事項

(1) 役員に関する事項

・理事及び監事 15名 (任期：平成20年4月1日～平成22年3月31日)

役職	氏名	所属等
理事長	池部 豊	
理事	遠藤 徳吉	おごおり文化協会会長
理事	大庭 達敏	山口観光コンベンション協会理事長
理事	加藤 耀子	山口文化協会会長
理事	齋藤 宗房	山口ケーブルビジョン(株)代表取締役社長
理事	佐藤 泰正	中原中也記念館運営協議会会長
理事	田村 幸志郎	やまぐち市民文化の会会長
理事	中野 勉	山口商工会議所会頭
理事	福田 礼輔	特定非営利活動法人歴史の町山口を甦らせる会理事長
理事	古川 綾子	山口ユネスコ協会会長
理事	岩城 精二	山口市教育長
理事	吉田 正治	山口市副市長
常務理事	岩倉 宏昌	財団法人山口市文化振興財団事務局長
監事	溝部 哲夫	山口市会計管理者
監事	伊藤 和貴	山口市総合政策部次長

(平成21年4月1日現在・順不同)

・理事会開催状況

開催年月日	審議事項
平成20年 5月23日	議案第1号 平成19年度事業報告
	議案第2号 平成19年度一般会計収支決算
	議案第3号 平成19年度特別会計収支決算
	議案第4号 平成20年度一般会計補正予算(第1号)
	議案第5号 平成20年度特別会計補正予算(第1号)
平成21年 3月27日	議案第1号 評議員の選出について
	議案第2号 平成21年度事業計画
	議案第3号 平成21年度一般会計収支予算
	議案第4号 平成21年度特別会計州市予算
	議案第5号 副専門員就業規則の制定について
	議案第6号 副専門員給与規定の制定について

(2) 評議員に関する事項

・評議員 12名 (任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日)

氏名	所属等
井生文隆	山口県立大学国際文化学部文化創造学科教授
鈴木克彦	財団法人山口観光コンベンション協会常務
伊藤真由美	山口芸術短期大学助教授
片岡陽子	山口インフォメーション・カレッジ教頭
菊屋吉生	山口大学教育学部教授
斎藤郁夫	山口県立美術館学芸課長
水谷由美子	山口県立大学国際文化学部文化創造学科教授
山中清治	山口ケーブルビジョン株式会社編成制作局長
秋吉亨	NHK山口放送局放送部部長
吉光純也	東亜大学副学長
高橋和明	山口市教育委員会中央図書館館長
中谷尚夫	山口市総合政策部文化政策課課長

(平成21年4月1日現在・順不同)

・評議員会開催状況

開催年月日	審議事項
平成20年5月23日	議案第1号 平成19年度事業報告
	議案第2号 平成19年度一般会計収支決算
	議案第3号 平成19年度特別会計収支決算
	議案第4号 平成20年度一般会計補正予算(第1号)
	議案第5号 平成20年度特別会計補正予算(第1号)
平成21年3月27日	議案第1号 役員の選任について
	議案第2号 平成21年度事業計画
	議案第3号 平成21年度一般会計収支予算
	議案第3号 平成21年度特別会計収支予算

(3) 登記及び届出

・登記

登記原因発生	申請先	事由	登記年月日
平成21年3月27日	山口地方法務局	理事の辞任及び就任	平成21年4月2日

・主務官庁への届出

届出年月日	届出先	届出事項
平成20年4月1日	山口県	平成20年度事業計画書及び収支予算書
平成20年4月1日	"	公益法人監事変更届
平成20年4月10日	"	公益法人登記完了届
平成20年5月23日	"	平成19年度事業報告及び収支計算書
平成21年4月1日		平成21年度事業計画書及び収支予算書
平成21年4月1日	"	公益法人監事変更届
平成21年4月8日	"	公益法人登記完了届